

第 1 回 企画委員会

平成 30 年 2 月 1 1 日（日）14:00 ～ 高田高校会議室

1 はじめに

- ・ 記念事業実行委員長挨拶

オリンピックの最中、寒中の参加へのお礼

この企画委員会では、大きな柱を決める。

自分たちが関わる喜びを踏まえ、記憶に残る 100 周年にしたい。

- ・ 学校長挨拶

インフルエンザが、生徒・職員にも流行している現状がある。

校内で考え・企画したものを、この委員会で協議をしていただきたい。

- ・ 企画委員会各委員自己紹介（資料①参照）



企画委員会の様子

2 記念事業実行委員会企画委員会・各専門委員会の業務内容について（資料②参照）

企画委員会と各専門委員会の間で、往復で協議を重ねていく。

校内では事務局的な役割を担い、企画委員会と協同で事業を進めていく。

3 第 1 回専門委員会（11月26日（日）開催）について（報告）

- ・ 各専門委員会協議内容（資料③参照）

- ・ 11/26 以降の専門委員会の開催等について

総務：ポスター・パンフレットで、外部に向けて周知を図っていく。

行事：記念講演会を実施する。式典は全校生徒が参加する。現在活躍中の芸能人を呼ぶ。

募金：総額でどれくらい集めるか、各委員会の進捗状況を見ながら考える。

募金期間は 1 年間。

記念誌：過去の事例を参考に、写真を多く取り入れた内容にする。

校史は、学校で進めてもらう中に、委員会としての考えを入れていく。

事業：記念になり、在校生に還元できるものを、製作する。

4 先催実施高校の事例研究

- (1) 県立桜井高校：平成 16 年 10 月 31 日実施 の経費及び事業概要（資料④参照）

本校のスタイルと違いもあるので、あくまで参考とするものである。

決算はあくまで目途である。同窓会からは毎年 100 万円の予算立てをしてある。

募金を集めるまでの当面の活動費用として、700 万円を用意できている。

- (2) 大阪府立河南高校・高津高校：平成 30 年 11 月実施 の視察報告（資料⑤参照）

資金集めに苦勞している。募金は WEB で申し込み。特定寄付金 5000 万円、一般募金 5000 万円。

基本的な募金スタイルは、時間を要する。

記念誌は 100 人に原稿依頼した。冊子も WEB 上で作成した。

5 企画委員会としての協議事項 <校内実行委員会の進捗状況>

- ・スローガン（キャッチフレーズ）・ロゴマーク（シンボルマーク）の募集について（資料⑥参照）
- ・啓発活動（横断幕・看板・ポスター）について（資料⑦参照）

生徒からの応募が集まりつつある。

- ・平成31年度プレ大会（芸術鑑賞会）の開催について（資料⑧参照）

平成29年度入学生（現1年生）から参加する。

- ・記念誌の編纂について（資料⑨参照）

見積もりは、冊子を作るに当たってのたたき台となるもので、東洋印刷に依頼済み。

- ・記念事業（同窓会館の改装）と県教委との調整

学校支援課からは、本校が申請すれば許可の運びとなる旨の連絡があった。

どこを整備するかはこれから検討する。具体的には31年度からで、30年度中に予算を決める。

- ・記念式典・祝賀会の日時及び会場について

90周年の時は、さざんかホールで式典および祝賀会を開催した。

11月1日（創立記念日）を中心に考える。

6 その他

- ・第2回企画委員会の開催日程

学期に1回程度開催する。

- ・先催実施高等への視察希望について

適宜希望があれば行う。

- ・各専門委員会の実施予定（日程）

それぞれ必要な時期に開催する。

- ・各専門委員会ごとの連絡網・連絡先名簿の作成について（資料⑩参照）

個人情報に鑑みて、取り扱いに注意する。